

平成 28 年度 特別養護老人ホームふるさと（長期入所）事業計画

【基本方針】

団体生活の枠にとらわれず、家庭生活により近い施設生活の提供を行う

【年間目標】

- ② ご入居者のご家族との思い出作り
- ② 日々のレクリエーションの充実
- ③ 言葉使い、礼儀の徹底
- ④ 職員の知識・技術・意識の向上
- ⑤ サービスの質の向上
- ⑥ ご入居者・ご家族に寄り添った看取り介護をおこなう
- ⑦ 5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を取り入れた業務改善
- ⑧ 短期入所と合わせて 99.5%以上の稼働を目指す

【実践計画】

- ① ご入居者のご家族との思い出作り
 - ・ ご家族に年間の様々な行事やレクリエーションに参加して頂ける様、積極的に働きかけ、ご入居者と共に過ごす時間を作っていく
 - ・ ご入居者やご家族の希望を聞き取り、個別の計画を作成する
 - ・ 四季を感じて頂ける様に環境面を工夫し、レクリエーションに取り入れていく
 - ・ 日々のレクリエーションを充実させ、ご家族の面会時に一緒に楽しんで頂く
 - ・ ご入居者、ご家族、担当職員等とお茶を飲みながらゆっくりした時間を持ち日頃のご入居者の様子や変化、要望を聞く機会を持つ
- ② 日々のレクリエーションの充実
 - ・ 午前中、午後に関わらず何時でも書道、絵画、脳トレ等ができる様にセットしておく
 - ・ 読書コーナーを作る
 - ・ 一日の生活の流れの中で必要な機能訓練は積極的に取り入れる
- ③ 言葉使い、礼儀の徹底
 - ・ 職員一人一人が常に意識し、自覚を持ち行動すると共に、お互いに注意し合える環境を作る
 - ・ 職員同士の言葉使いを日頃から意識し、職員間でお互いに評価する機会を設ける
 - ・ 外部の接遇・マナー研修に参加し、学んだ知識を職員間で共有し、確実に身に付けていく

④職員の知識・技術・意識の向上

- ・介護技術や知識の自己評価・職員間評価をおこない、個々の持つ強み弱みを正しく把握し、各自がスキルアップできるようスーパービジョンの場を設ける
- ・勉強会に「介護技術」を取り入れ、基本に立ち返ることで、課題や成長を認識し自己に必要な改善点を見つける
- ・外部の勉強会や研修会に参加しやすい環境を作り、学んだ知識・技術を職員間で共有し、職場全体の向上につなげていく

⑤サービスの質の向上

- ・ご入居者のケアプランを把握すると共に、記録を充実させ職員間の情報を共有し、統一したケアを提供する
- ・常に問題意識を持ち業務に取り組み、会議や話し合いの場では、意見を出し合い話し合い、より良い環境、ケアを提供できるようにする

⑥ご入居者・ご家族に寄り添った看取り介護をおこなう

- ・安心・安楽な最期を迎えて頂ける様、職員間の連携を図り、きめ細やかなケアを提供する
- ・残された時間のケアの充実に努めるため、ケース担当者のご家族が話し合える場を設け、担当者より情報発信できるようにする

⑦5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を取り入れた業務改善

- ・整理・・・必要なものと不必要なものに分ける（物・スペース・仕事・情報）
- ・整頓・・・必要な物だけを置き場を決めて表示する
- ・清掃・・・身の回りの物や職場をきれいにする
- ・清潔・・・見た目のきれいさを保つと共に、人格や品行も含めて清くする
- ・躰・・・上記の4 Sを習慣づけ・維持し、更に良い方法を探索し、職場のルールや規律・決まり事を守ることを徹底する
- ・こまめに室温管理・照明管理をおこない、ガス代・電気代を削減する
- ・入浴時介助時の湯量を調整し、水道代を削減する
- ・リースタオル類等、無駄使いを無くす

⑧短期入所と合わせて99.5%以上の稼働を目指す

- ・ご入居者の早期異常発見・対応に努め、入院者を減らす
- ・入院者の状態把握をし、スムーズな退院調整、空床コントロールをする
- ・急な退所があっても、その後スムーズな入所ができるよう調整・準備をする
- ・リスク管理を徹底し、事故防止に努める（特に転倒、誤嚥性肺炎等）